

伊那圏域の減災に係る取組の進捗状況

資料-1

| 取組項目 | 取組機関 | 平成30年度実施内容 | 平成31年度の予定 |
|--|----------------------|--|---|
| ハード対策 | | | |
| 洪水を河川内で安全に流す対策 | | | |
| 優先的に実施する堤防、護岸等の整備 | 県 | 伊那建設事務所にて、棚沢川、三峰川、駒沢川、猪の沢川、小黒川、大沢川、田沢川で河川改修事業を実施 | 引き続き河川改修事業に取り組む |
| 適時、適切な維持管理の実行 | 県 | 適宜、維持修繕工事を実施 | 引き続き維持管理を行う |
| 避難行動、水防活動排水活動に資する基盤等の整備 | | | |
| 水位等の観測データ及び洪水時の状況を把握・伝達するための基盤の整備 | 県 | ホームページ(長野県河川砂防情報ステーション)をリニューアルして水位情報を提供 | 引き続きホームページにて水位情報を提供する |
| 住民への避難情報の伝達手段の強化 | 市町村 | 駒ヶ根市: 住民主導型警戒避難体制構築事業の実施 中川村: 自主防代表者に対し、携帯無線機の使用説明を行い、有事の際に即使用できる態勢とした | 駒ヶ根市: 住民主導型警戒避難体制構築事業の実施 中川村: 引き続き自主防代表者への説明を行う |
| 水防活動を支援するための新技術を活用した水防資機材等の配備 | 県 | 水位計の新設希望箇所について調査を実施 | 危機管理型水位計の設置が必要な箇所等の検討 |
| 浸水時においても災害対応を継続するための施設の整備及び自家発電装置等の耐水化 | 市町村 | 中川村: 耐水化が必要な位置に施設や自家発電装置を設置していない | |
| 内水被害危険箇所の対策、排水ポンプの準備 | 県、市町村、天竜川上流河川事務所 | 長野県において、従来より排水ポンプ車を飯田、諏訪、北信建設事務所に配備し、運用要領を定めて、必要に応じた出動に備えている | 引き続き、必要に応じた排水ポンプ者の出動に備える |
| 局地的豪雨に対する雨量情報の把握手段の検討 | 県、市町村 | 駒ヶ根市: 雨量観測システムによる継続的な観測 中川村: 村単独の雨量計などを村内7箇所に設置している 宮田村: 土砂災害監視カメラの運用(村内3カ所)継続 | 駒ヶ根市: 雨量観測システムによる継続的な観測 中川村: 引き続き、維持管理に努める 宮田村: 土砂災害監視カメラの運用(村内4カ所)継続 |
| ソフト対策 | | | |
| ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組 | | | |
| 広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等 | | | |
| 想定最大規模降雨による浸水想定区域図の作成・公表の予定を検討して順次作成・公表 | 県 | (一)天竜川(県管理区間)に係る想定最大規模降雨による浸水想定区域図を作成(諏訪建設事務所) | (一)沢川の箕輪ダム下流に係る想定最大規模降雨による浸水想定区域図を作成(H30.2月補正) |
| 想定最大規模の洪水による浸水想定区域図が作成された場合は、速やかに当該浸水想定に基づく水害ハザードマップを作成・周知 | 市町村 | 中川村: 天竜川に係る想定最大規模降雨による浸水想定区域を村防災ハザードマップに明記し、村内全戸配布を行った 宮田村: 想定最大規模のハザードマップの更新 | 宮田村: 更新したハザードマップを全戸配布(4月) |
| その支援 | 県、天竜川上流河川事務所 | | |
| 水害リスク情報を踏まえて避難場所、避難経路を検討し、必要に応じて隣接市町村等における避難場所の設定や洪水時の連絡体制等について検討・調整 | 市町村 | | 中川村: 県の支援を受け「地区防災マップ」づくりを進める。その中で、地域特性に応じて避難場所や避難経路等、住民自らが考える機会を設ける |
| 要配慮者利用施設における避難計画の作成及び避難訓練の実施 | | | |
| 浸水、土砂災害対象の要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び避難訓練の実施の支援 | 市町村、県、天竜川上流河川事務所 | 駒ヶ根市: 浸水、土砂災害対象の要配慮者利用施設の避難確保計画の作成 中川村: 避難確保計画の提出が行われた | 中川村: 避難訓練等について、施設からの要請に応じて支援を行いたい |
| 避難勧告の発令に着目したタイムラインの作成 | | | |
| 避難勧告の発令に着目したホットライン・タイムラインの作成・見直し | 県、市町村、気象台、天竜川上流河川事務所 | 平成29年に整備した県と管内市町村との大規模出水時における連絡体制(ホットライン)を時点修正 | ホットラインの連絡者に変更がある都度、更新を行う |
| 必要に応じた地域防災計画の修正やマニュアルの整備 | 市町村 | 中川村: 地域防災計画の見直しを行うべく、資料収集等を行った | 中川村: 全面的な修正を行う |
| タイムラインに基づく訓練 | 県、市町村、気象台 | | 中川村: 関係各機関と連携した訓練に参加する |
| 「危険度を色分けした時系列」、「警報級の可能性」や「洪水警報の危険度分布」等の新しい防災気象情報の利活用の検討 | 県、市町村、気象台 | | |
| 水害危険性の周知促進 | | | |
| 洪水予報河川、水位周知河川の追加指定について、検討・調整を実施 | 県 | | |
| 水位計やライブカメラ等の情報をリアルタイムで提供 | 県、天竜川上流河川事務所 | ホームページ(長野県河川砂防情報ステーション)をリニューアルして水位情報を提供 | 引き続きホームページにて水位情報を提供する 簡易型監視カメラを(一)横川川に設置予定(H30.2月補正) |
| ②洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組 | | | |
| より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化 | | | |
| 消防団等への連絡体制や役割分担の再確認と伝達訓練の実施 | 市町村、県、天竜川上流河川事務所 | 中川村: 消防団の恒常的な訓練として、無線伝達訓練を定期的に行っている | 中川村: 引き続き、伝達訓練を実施する |
| 消防団同士の連絡体制の確保 | 市町村 | | |
| 重要水防区域や水防資機材等について、河川管理者と関係者の共同点検の実施を検討 | 県、市町村 | 河川法第5条の2に基づき、河川管理者(伊那建設事務所)にて、出水期前に河川管理施設等の点検を実施 | 引き続き点検を実施 |
| より効率的な巡視方法や役割分担の検討 | 県、市町村、天竜川上流河川事務所 | 宮田村: 河川査察、水防計画検討会を実施 | 中川村: 水防協議会などを通して、役割分担等を確認する |
| 関係機関が連携した実働水防訓練の実施について検討 | 県、市町村、天竜川上流河川事務所 | 指定水防管理団体である各消防団において、長野県水防計画に基づき、伊那建設事務所指導により出水期前に水防訓練を実施 | 引き続き水防訓練を実施 |
| 消防団員の募集、自主防災組織、企業等の参画を促すための具体的な広報の進め方について検討し、順次実施 | 市町村 | | |

| | | | |
|--|----------------------|---|-----------------------------------|
| 内水被害危険箇所の把握及び情報共有 | 県、市町村、 天竜川上流河川事務所 | | 中川村：地区防災マップづくり等の際に、地域の危険箇所等の把握を行う |
| 浸水想定区域内の市町村庁舎や災害拠点病院等に関する情報を共有し、各施設管理者等に対する洪水等の情報伝達体制・方法について検討 | 県、市町村、 天竜川上流河川事務所 | 中川村：そういった地域にある企業等に対しては、防災ハザードマップを配布し、周知を行った | |
| 災害拠点となり得る施設・資材・備品の強化等 | 県、市町村、 天竜川上流河川事務所 | 中川村：関連各機関と災害時協定書を結ぶなど、資機材等の調達に向け強化を行った | 中川村：引き続き、災害時協定等を結び、有事の際の対応力強化に努める |
| ③社会経済活動被害最小化を図るための排水活動や河川管理施設整備の取組 | | | |
| 排水施設・排水資機材の運用方法の改善 | | | |
| 水害リスク情報、現況の排水施設・資機材の情報について共有 | 県、市町村、 天竜川上流河川事務所 | 中川村：河川事務所主催の講習会に参加し、資機材等の説明を受け、見識を広めた | 中川村：引き続き、説明会等に積極的に参加していきたい |
| よりわかりやすいダム情報の公表・伝達手段の検討 | 県 | ホームページ(長野県河川砂防情報ステーション)をリニューアルしてダム情報を提供 | 引き続きホームページにてダム情報を提供する |
| 樋門等の情報共有と操作状況の確認 | 県、市町村、 天竜川上流河川事務所 | 中川村：樋門点検等年1回行っており、その中で操作確認等を行っている | 中川村：引き続き、樋門点検を実施する |